

## 研究課題名：子宮体癌における p53 免疫染色の意義

### 1. 研究の対象

2021/1/1 から 2023/3/31 までに当院で初回治療した子宮体癌の患者さん

### 2. 研究目的・方法

#### (1) 目的

子宮体癌の分類に病理分類より、より予後を反映する分子分類が採用されました。p53 変異 (p53-mutant) タイプが最も予後不良である。分子分類を加味した術後補助療法も提唱されています。p53 変異に関しては、免疫染色の異常所見と遺伝子変異との一致率が高いと報告されています。当院で治療した子宮体癌の患者さんのうち、診断目的の臨床検査として行われた p53 の免疫染色パターンと病理所見及び臨床所見を比較検討し、p53 免疫染色所見を治療方針決定に用いることの意義に関して検証する予定です。

#### (2) 方法

2021/1/1 から 2023/3/31 までに当院で治療した子宮体癌の診断目的に行われた p53 免疫染色所見と病理所見 (筋層浸潤、頸部間質浸潤、脈管侵襲、付属器転移、リンパ節転移など) 及び臨床所見 (年齢、進行期、予後) を比較検討します。

研究期間：倫理審査委員会承認日 ～ 2024 年 3 月 31 日まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、年齢、病理診断、進行期、治療法、予後など。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

当院研究責任者：

新潟県立がんセンター新潟病院 婦人科

当院研究責任者：菊池朗

連絡先：新潟市中央区川岸町 2 丁目 15 番地 3

TEL：025-266-5111 (大代表)